

ライ麦「初春」・「サムサシラズ」の推奨品種への編入

(畜試 草地部)

1. 背景とねらい

ライ麦は岩手県の二毛作体系の重要な冬作物である。二毛作体系では、サイレージ用とうもろこしの安定多収を得るためにライ麦の熟期の早い品種が求められる。これらのことから有望品種4品種を平成元年度の参考事項としたが、その中から耐病性・耐寒性・地域性等を加味して「初春」と「サムサシラズ」を推奨品種に編入した。

2. 技術の内容

(1) 推奨品種の来歴と特性

品 種 名 (系 統 名)		初 春 (EC-3)	サムサシラズ
来 歴		昭和59年に雪印種苗(株)がアメリカより導入した極早生ライ麦。雪腐病検定済	昭和51年頃カネコ種苗(株)がアメリカより導入した。
試 験 年 次		昭和62年～平成2年	昭和62年～平成2年
特 性	早 晩 性	極 早 生	中 生
	利 用 方 法	サイレージ・青刈	サイレージ・青刈
	出 穂 期	5月11日	5月15日
	耐 病 性	強	強
	耐 寒 性	中	極強
	期待収量 (Kg/10a)	5500～6000	5000～6000
	乾物収量 (Kg/10a)	919.9	1015.0
適 応 地 域		根雪期間100日以下の地域	100日以上地域

### 3. 選定の理由

「初春」は現在の推奨品種「ペトクーザ」より熟期が早く、「サムサシラズ」は「ペトクーザ」並で、しかも5~15%多収である。そのうえ「初春」は耐病性、「サムサシラズ」は耐寒性に優れた。

### 4. 普及上の留意点

(1) 適期播種(9月下旬~10月上旬)を行うこと。

(2) 播種量は7~8Kg/10aが望ましい。ただし、排水の悪い圃場や播種期が遅れた場合は、やや播種量を多めにすること。

(3) 多肥条件(N 10Kg/10a以上)では倒伏しやすいので肥培管理に気をつけること。

### 5. 試験成績

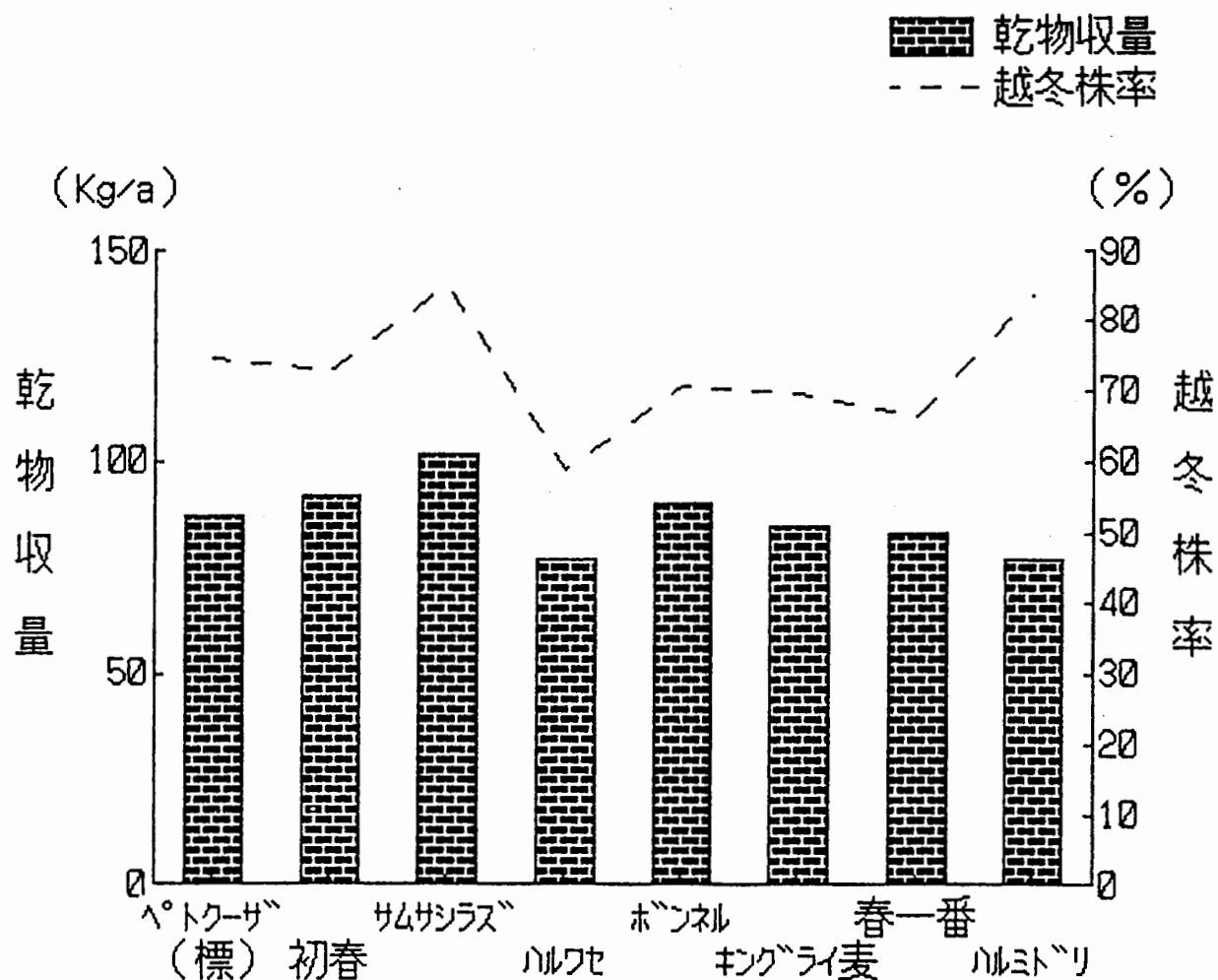


図 ライ麦の品種別乾物収量と越冬株率